

ふたなり
聖女様の
の

弱
ぽ





※ご注意

この作品には
ふたなり×女 要素
が含まれます。

この作品はシリーズものです。
過去作と世界観を共有しておりますが、
本作単体でもお楽しみいただけます。

古くから
伝わる
おとぎ話がある

かつて聖女は
自分が最も愛する者に
祝福を分け与え
不死としたが

相手は人としての
死を望み

しかし彼女自身も
その祝福の
解き方が
わからなかった

祝福とは
すなわち呪い

良かれと思って
やったことが
必ずしも
良い結果になるとは
限らないという
そんな教訓のお話

満月の夜に
魔物が発情してしまう
世界でのお話。

登場人物



アナベラ

教会が有する最高権力者、「聖女」の一人。

魔法の天才。

大好きなマノアを自分の傍に置くべく
天賦の才能を発揮して聖女となった。

発情したマノアを抱くために
術式でtntnが生える。



マノア

ミノタウロスのシスター。

前作の後、アナベラ専属の護衛として
教会中央本部へ異動している。

デカイ。むちむち。

ミノタウロスのメスの特性で、
満月が近づき、発情すると
母乳が出る。



カ
ラ
ー
ー

カ
ラ
ー
ー

私が中央に
移動してから
約一か月



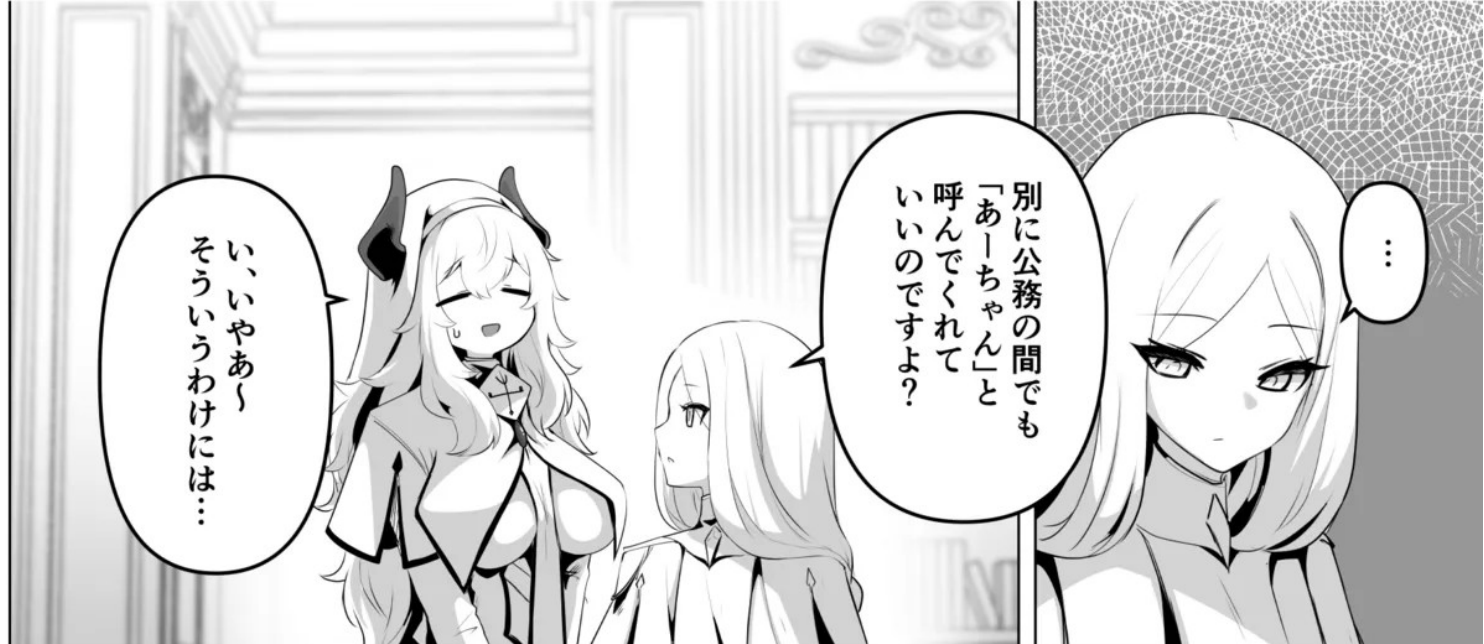
今日も私は
あーちゃんの
専属の護衛として
働いています



身支度は
終わりました
アナベラ様

いつも
ありがとう
マノア

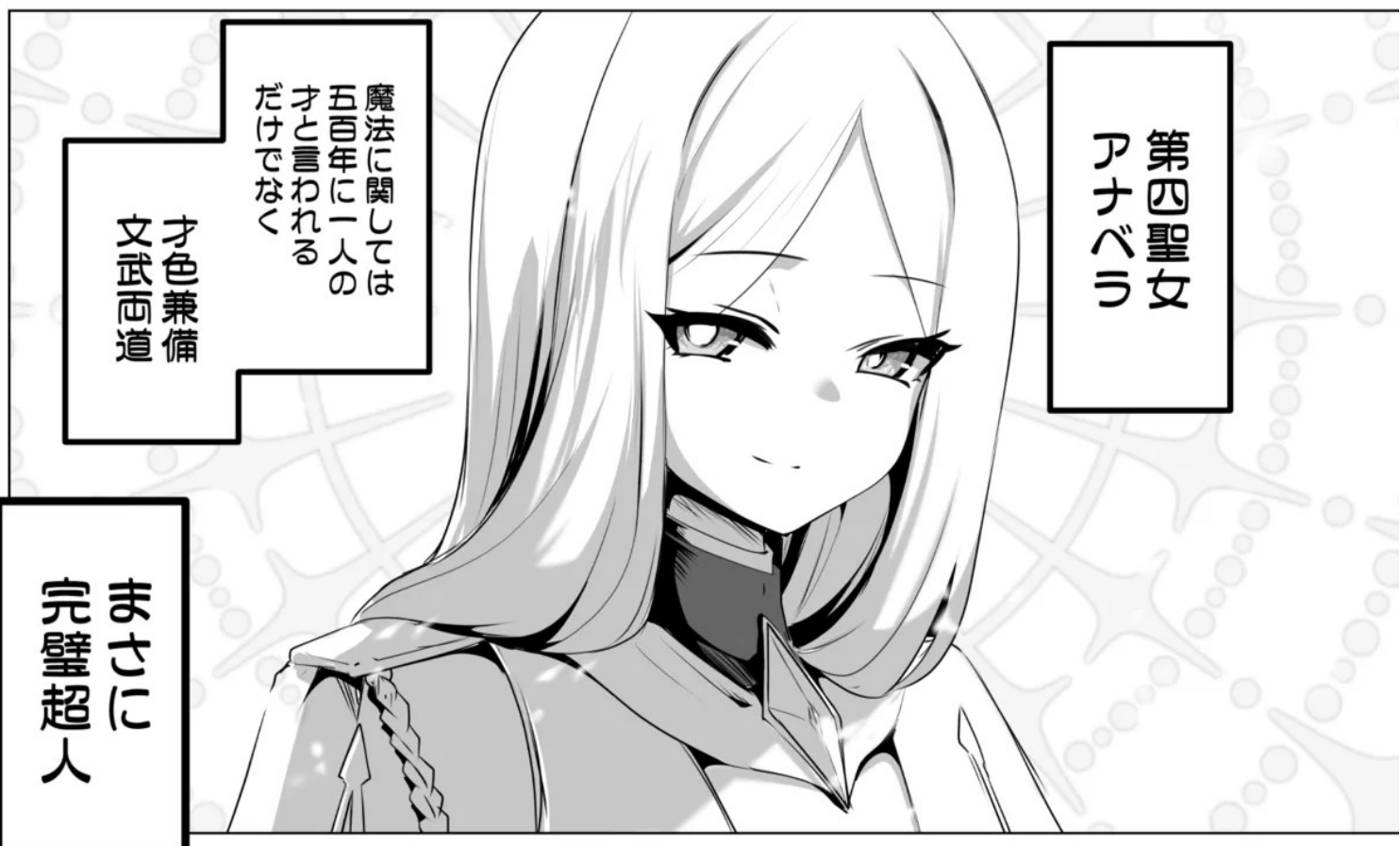
いえ
お務めですから



いいやあゝ
そういうわけには…

別に公務の間でも
「あーちゃん」と
呼んでくれて
いいですよ？

…



第四聖女
アナベラ

魔法に関しては
五百年に一人の
才と言われる
だけでなく

才色兼備
文武両道

まさに
完璧超人



そして
魔物である私が
教会に居続け
られるように

全てを
捧げてくれた人

前回のざっくり要約

魔物の特性で
どうしても教会の掟を
破ってしまうマノアを
見たアナベラは

教会のルールが
マノアを苦しめる
のなら

ルールを
変える側に
なればいい

と決意し、
魔法の才能で
ゴリ押しして
教会の最高権力組織に
入ること

マノアを直接
自分の庇護下に置き
守ることに
成功しましたとき



大気中の
魔力濃度が
上がっています

体調は
大丈夫ですか？

はい！

昼間ならまだ
全然問題ありません

では行き
ましょうか

今日も公務が
山積みです

はいっ

私がどうしても
守れなかった
教会のルール



それは汚れた
欲情のコントロール



可哀想に

すっかり
火照ってしまつて

やはり夜になると
厳しそうですね

あらあら



今気持ちよくして
あげますからね



あと数日で
月も満ちますし
無理ありません

逆に寝所まで
よく耐えました

たくさん
お果てなさい

おお♡
おお♡
おお♡



月から降り注ぐ
魔力は魔物を酔わせ

本性を
あぶり出す

本性を
あぶり出す

多くの場合
それは性的欲求
という形で
発露する

[illegible]







残された時間…
かあ



さっきも私が
一番気持ちよくなる
瞬間に射^だして
くれてたし

そのあたりの
コントロールも
しっかりしてるん
だろうなあ



これが私の
最近の悩み
の
U…

もっと私に
夢中になって
ほしいのに…

だったら
あーちゃんも



マー

ノー

アー

ぬう…



もうU…は…

マノア
体調は大丈夫
ですか？

は…はい

何かあったら
すぐに言うように

あなたを優先して
予定を切り上げます



ヴィヴィアン様!?

あら?
この前より
おっぱい
大きくなった?

第3聖女
ヴィヴィアン様

私が中央に来た時から
こうして激しい
スキンシップを
してくる方

決して悪い方では
ないのだけれど...

わあああ!?

ちゃん!

にゃ

あーそっか
満月近いもんねー

おっぱい
張るよわよねー

あの...お戯れも
ほどほどにして
いただけませんか...

うへへ







サイコーの
夜の過ごし方

おねーさんが
教えてあげる♡



汚らわしい…

2つ目の悩みは
あーちゃんと
ヴィヴィアン様の
仲が最悪なのに…



ガチャ…



私がひそかに
ヴィヴィアン様と
会っていること

失礼します

コン

どーぞー

コン



来たわね
マノアちゃん

はっ

さあさどうぞ
座って座って

アナベラは？

王族の方と
非公開の
会談中です

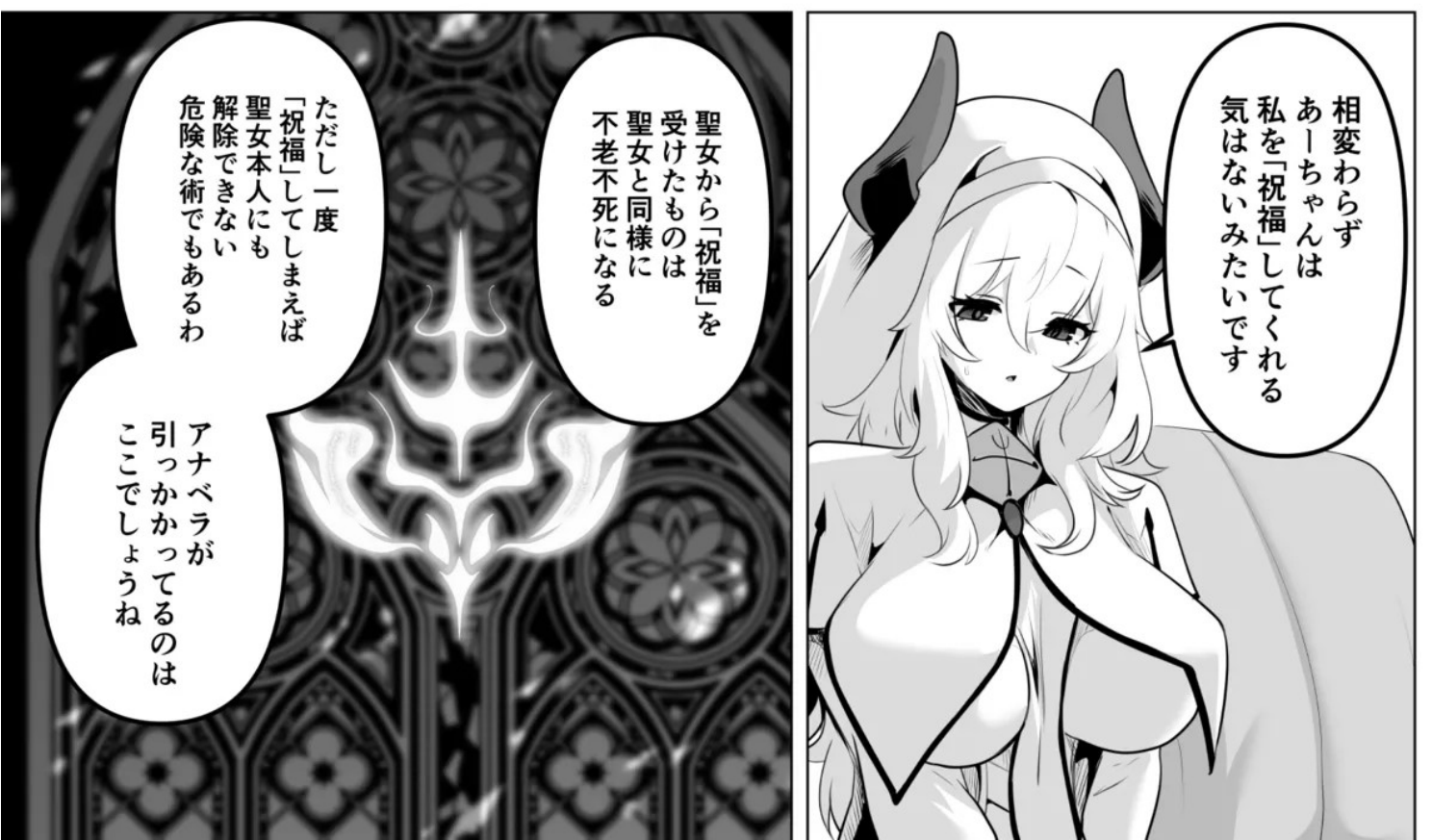
じゃあ
今のうちね



で？
その後はどう？

なにか
進展はあった？

それが…



相変わらず
あーちゃんは
私を「祝福」してくれる
気はないみたいです

聖女から「祝福」を
受けたものは
聖女と同様に
不老不死になる

ただし一度
「祝福」してしまえば
聖女本人にも
解除できない
危険な術でもあるわ

アナベラが
引っかかっているのは
ここでしょうね



あーちゃんは
確かに天才で
凄く大人びて
見えるけど

中身は私と
同じ年の
女の子の
はずなんです

このままいけば
私はいつか
老いて死んでしまう

あんなに頑張って
聖女になってまで
私を傍において
くれたのに

私は何も
返せないまま
また彼女を
一人にしてしまう

本当ならもっと
他人に甘えたり
わがままを
言ったって良い



だから私は
例え短い
時間であっても

私の全部を
あーちゃんに
捧げたいんです



てえてえ〜

てえてえ…？



任せなさい！

男も女も
喰い漁って来た
このおねーさんが
ズバツと解決して
あげるわ！

はい！

お願いします！

作戦その1

時間停止？

あなたが
抱いている
ときにですか？

...

アナベラが
マノアちゃんとの
行為に集中できてない
理由はだいたい
予想がつくわ

あの子マノアちゃんを
抱いてるとき
ずいっと周囲に
結界を張ってるの

物理と魔法の遮断
だけじゃなく
視覚妨害に
認識不可

次元も少し
ずらしてるわね

この手の魔法って
頭のリソース
すっごい食うのよ

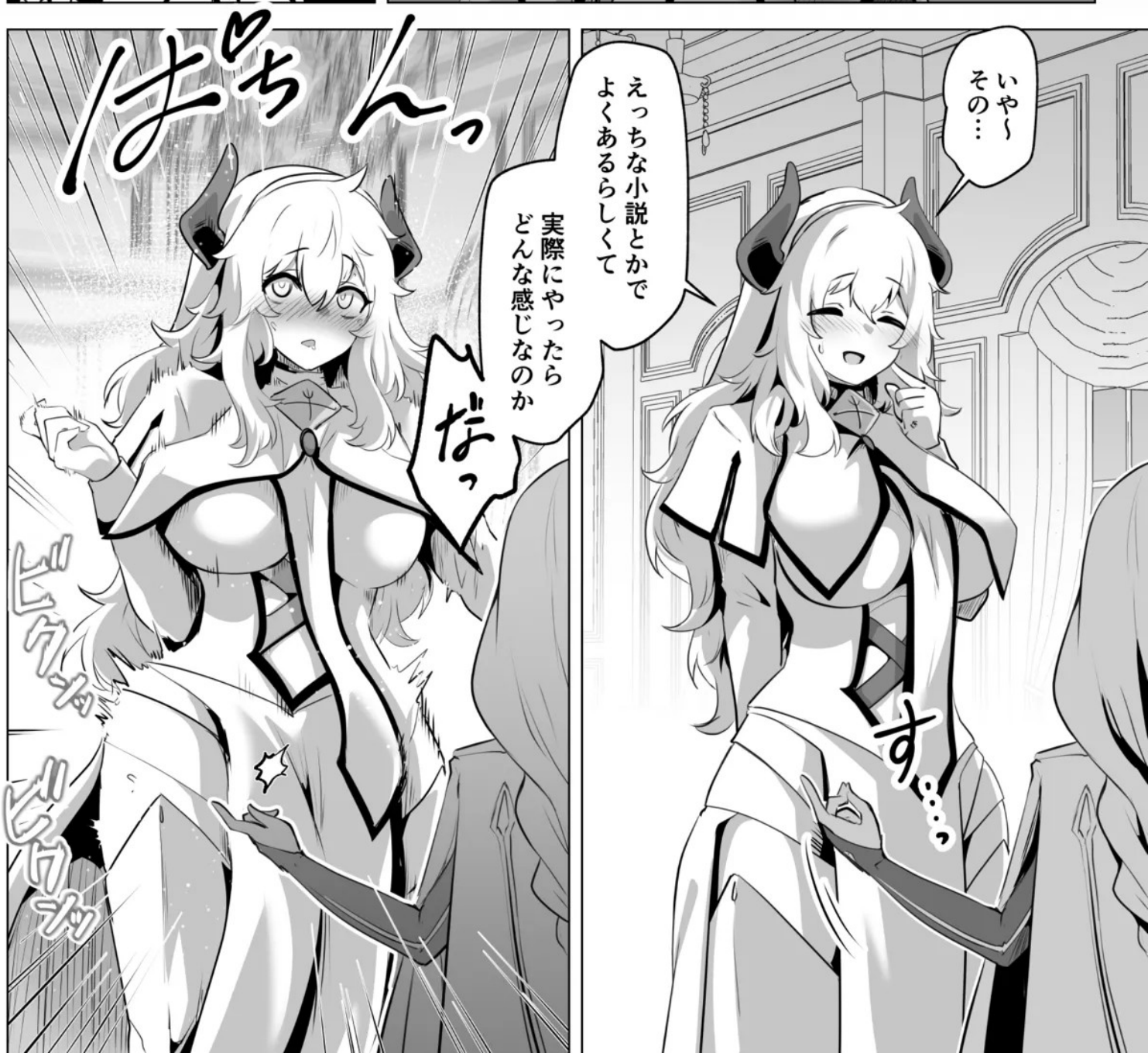
難しい計算問題を
並列にずいっと解き
続けてる感じ

魔法の制御

そりゃ好きな女のおっぱいを
目の前にしても
夢中になるのは
難しいでしょうね

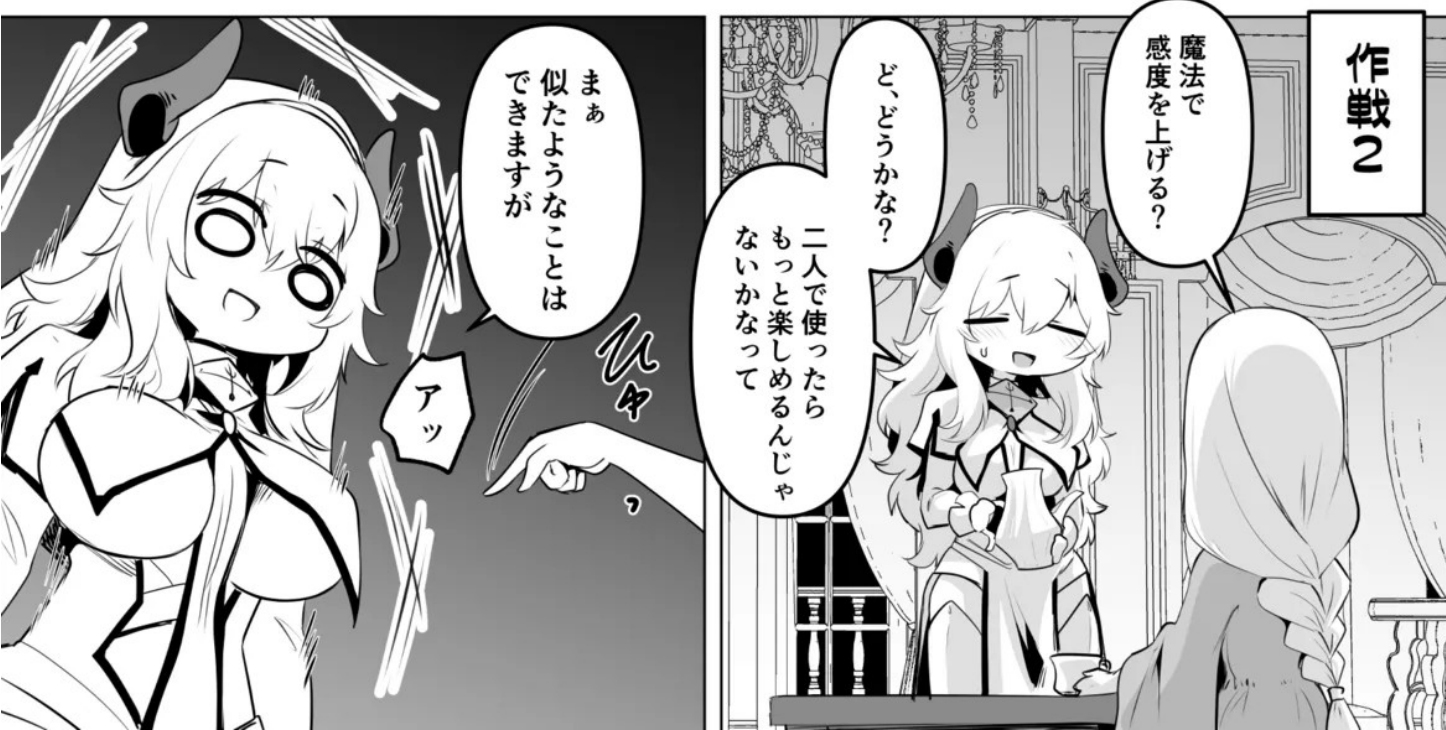
じゃあ
具体的に
どうすれば...

まあ
やめてと言って
やめてくれる
女じゃないでしょう









ああああ
違うの

私にやっても
意味ないでしょう？

あなたを
満たすために
抱いている
のだから

いつでも
お果てなさい

一番気持ちい瞬間に
射^だしてあげます

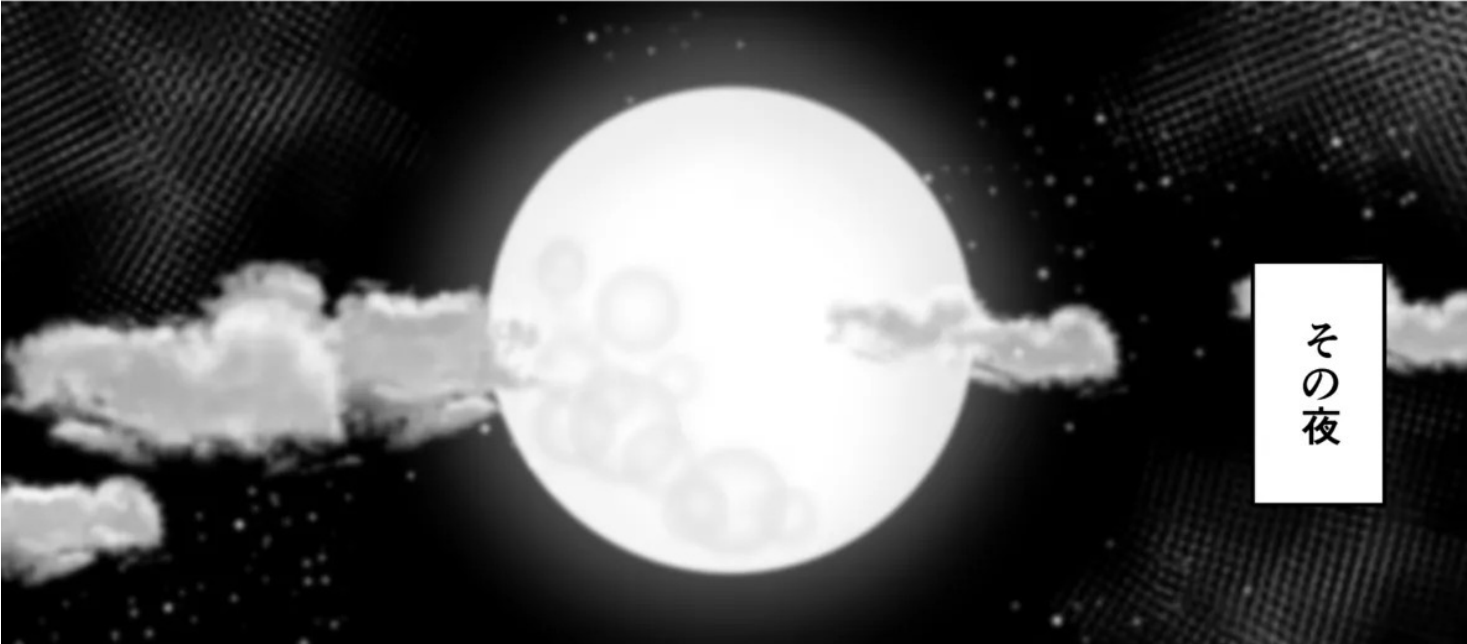
一緒……！
一緒がいいのにい

一緒……！

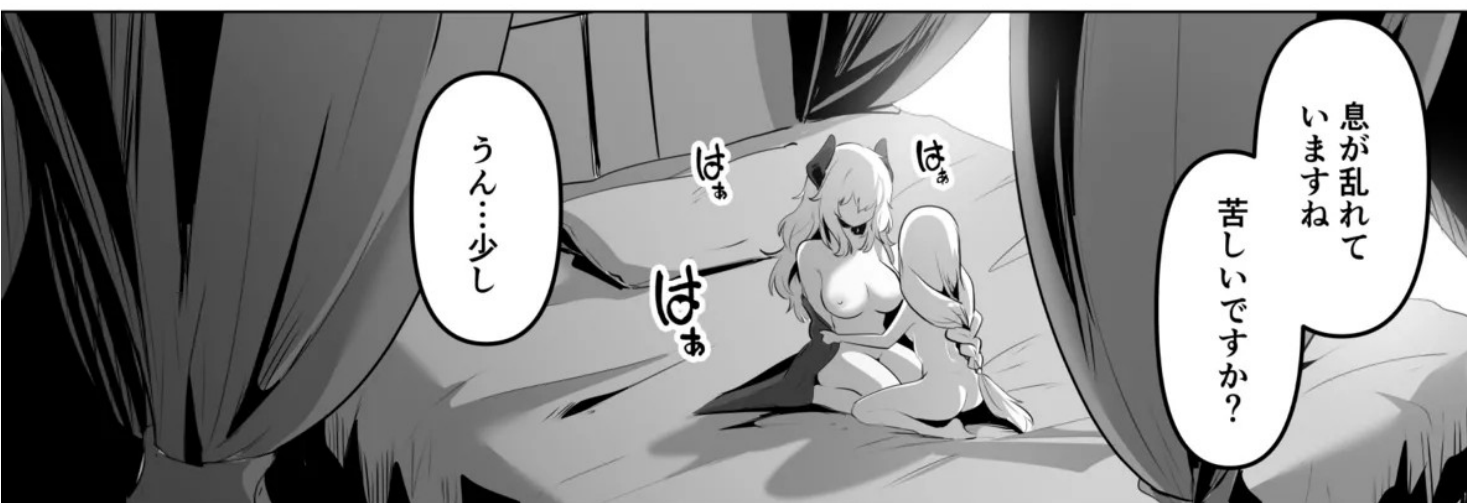








その夜



息が乱れて
いますね

苦しいですか？

うん…少し

はぁ
はぁ



あ…

ホントだ



じゅん

ハァ

ハァ



始めましょうか

ちゅ

ん

結界：
うつすら見える

ギ

そんなやり方が…

でもそれでは
ヴィヴィアン様が
悪者になって
しまいます！

あらやだ
優しい

こんな泥棒猫には
もったいない
お言葉だわあ

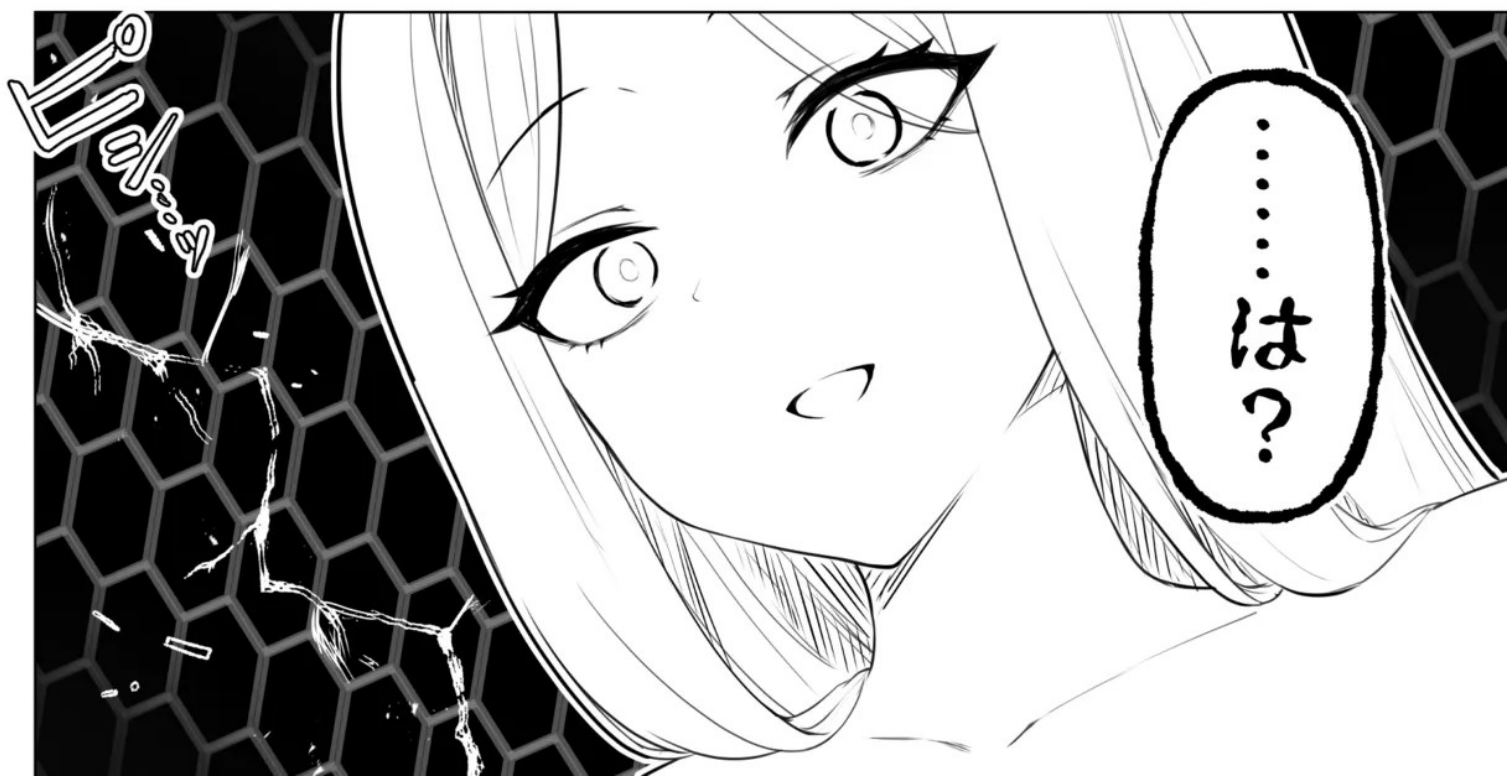
1千年以上
生きてるとね

若者の恋路を
応援するくらいしか
楽しみが無いのよ

この時のために
あなたたち二人に
ちよっかい出して
きたんだから

有効に使って
もらわないと







あなたという人が
ありながら
誘われるままに
部屋に行き

扉に鍵をかけ
密室で二人で…



そして今は
満月にあてられ
ただ己の欲を
解消したいがために

ぬち…

あなたに
股を開いています



罪深い私に

どうか
裁きを

にやっ

ハア

ハア



わたしの
なの……っ

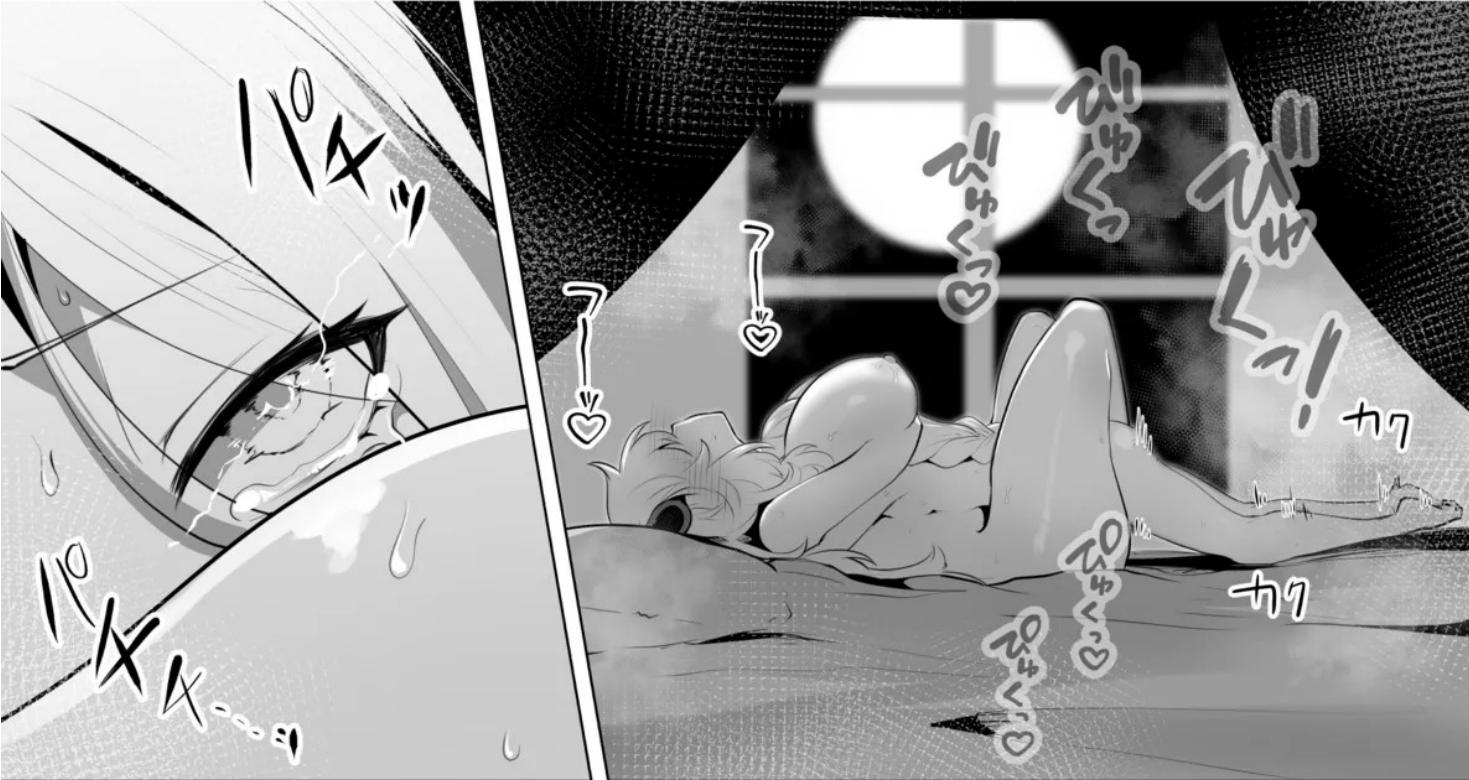
オムニ♡

ズッ
ハッ
ム♡

!?

ゼッ









ホントだ...

術式を制御
できなくなってる



一度制御中枢が
パンクすると
暫く魔法が使え
ないどころか

身体もろくに
動かせなく
なるから







ありがとう
あーちゃん

私のために
全てを捧げてくれて



あーちゃんが
してくれたことは

私の一生程度じゃ
お返ししきれない



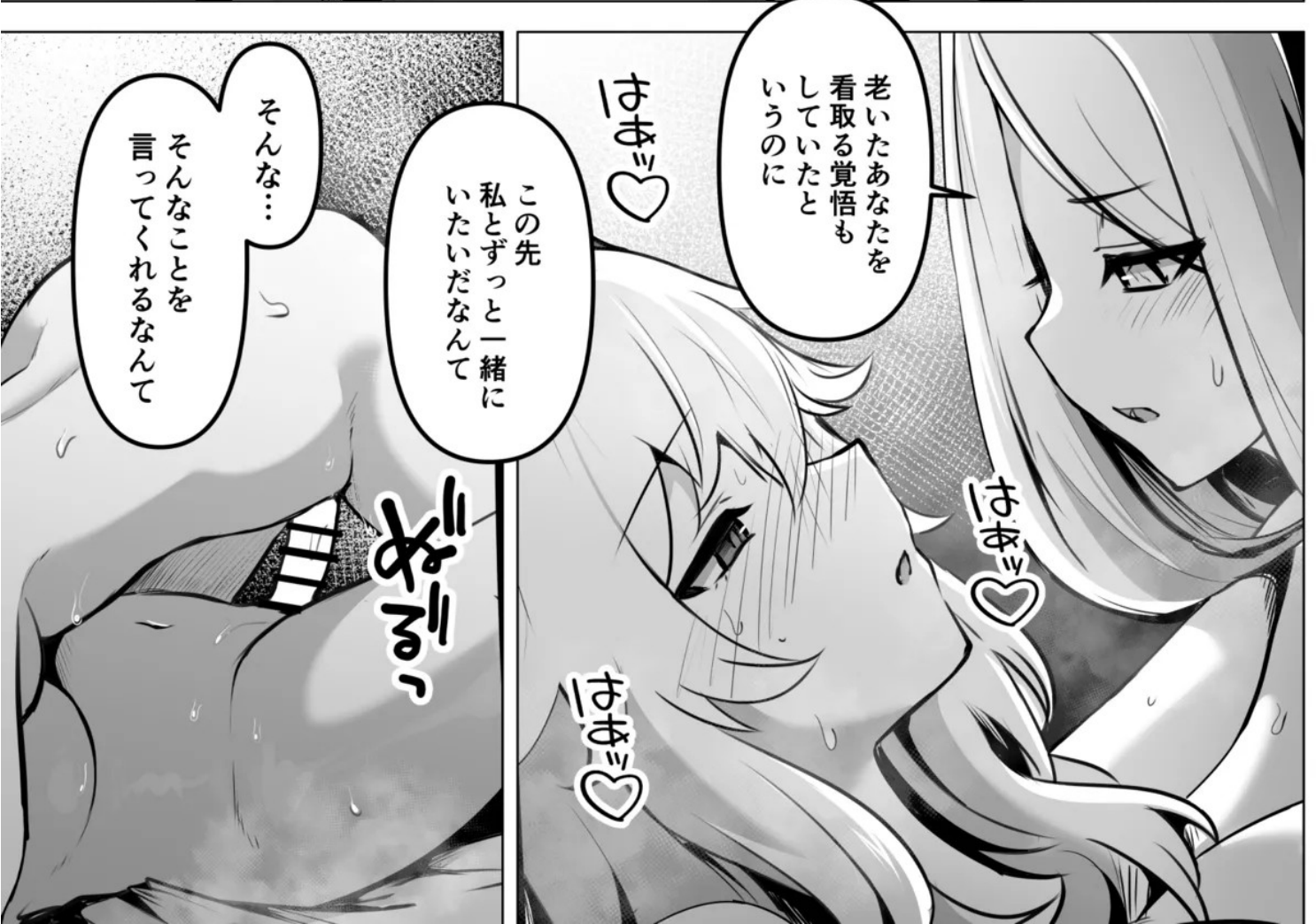
だからお願い



抱いて
あーちゃん

この先
何万回
月が満ちても





もうどう
なっちゃっても
知りませんから

く……

ぽちん

!!

あああああ

ハグハグ

いっく

いくの
止まらない……!!

一瞬で何度も……

イグイグ

時間停止
ですか？

あの時の…

はちん

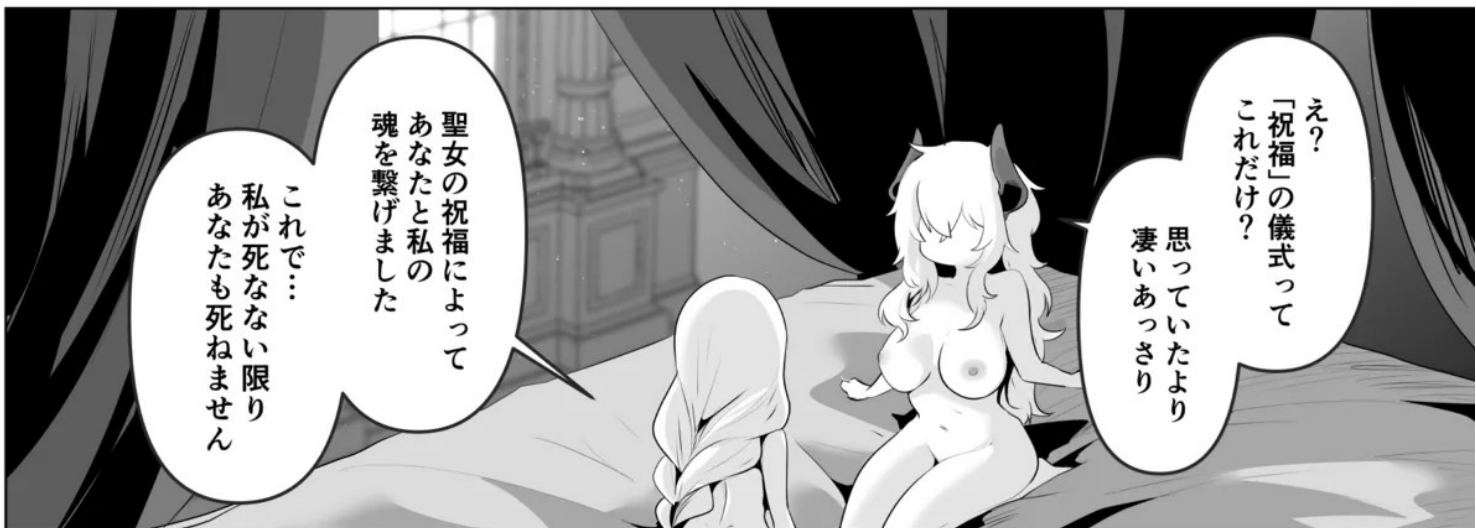
はちん



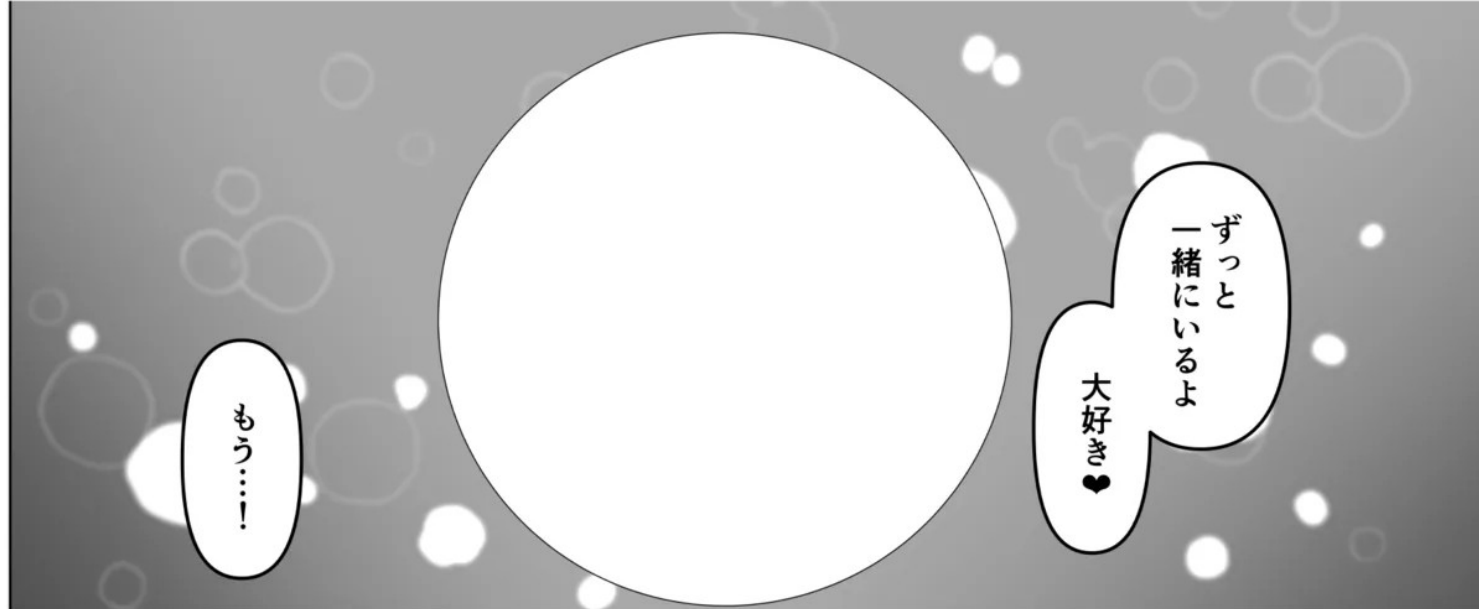












マノア



ミノタウロスの
シスターさん。

いろいろでかい。
(角も含めると
190センチくらい)

皮下脂肪が多いので
全身むちむちしている。

でも筋肉密度が
人間の5～6倍あるので
とても力持ち。

生野菜が好き。
(肉は嫌いじゃないけど
つつい野菜ばかり
食べてしまう)

アナベラ



世界で6人いる
聖女様の一人。

めっちゃめっちゃ強い。

魔物のマノアと一緒に
いるために権力者側
である聖女になった。

世界よりマノアが好き。
とくにおっぱいが好き。

満月の前後3～4日は
魔力バランスの影響で
体内で母乳が多量に生成
されるミノタウロスの♀

あ...



えっ...

ちたあ...



普段は普通の♀の身体

常にあるわけではなく
術式を使った時だけ
生える



満月物語1で
お嬢様が受けた呪いを、
興味を持った魔女が
術式として再現したもの

※前作「その身体でシスターは無理でしょ」に収録



それ、ちょうどいいので
もらいますね



うわあ おもしろ…
術式に落とし込んで
みましょ



なんか親族に
呪われてtntn生え
ちゃったんだけど!?



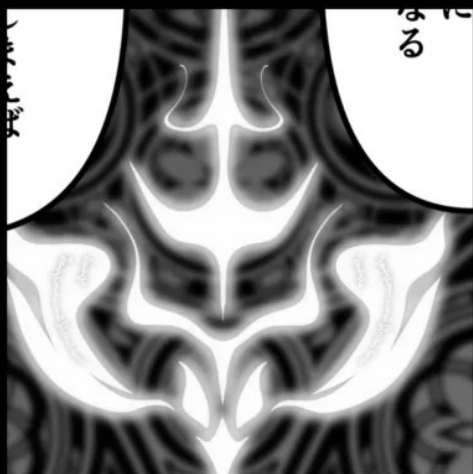
ヴィヴィアン

教会の最高権力を構成する聖女6人のうちの第三聖女。教会の創立メンバーの一人であり、1000年前の「人魔対戦」の時代から生きている。

人の恋路を応援するのが何よりの楽しみ。
彼女曰く女の子同士だとなお美味しいらしい。

本人は1000年前、初恋の相手の意見を尊重し、祝福を与えることなく看取っている。

聖女の祝福



聖女の魂の一部を特定の対象の内部に溶かしこみ、肉体をリンクさせる契約術式。

聖女は基本的に不老不死となるが、
肉体に修復不能なまでの損傷を負ったり、
封印によって行動が不可能になった場合、

この術式によって魂を契約対象に移動させ、
スペアの肉体として利用する。

(マノアを自分のバックアップとして
利用することになるので
アナベラはこの術式を使いたくなかった)

←

次ページからおまけ漫画
作品冒頭に入れようと思ってましたが
作品のテンポや感情描写等を考えて
おまけとして入れることにしました。
(時系列は前作後の、中央にマノアが来て
一緒に過ごし始めたころ)

古くから
伝わる
おとぎ話がある

かつて聖女は
自分が最も愛する者に
祝福を分け与え
不死としたが

相手は人としての
死を望み

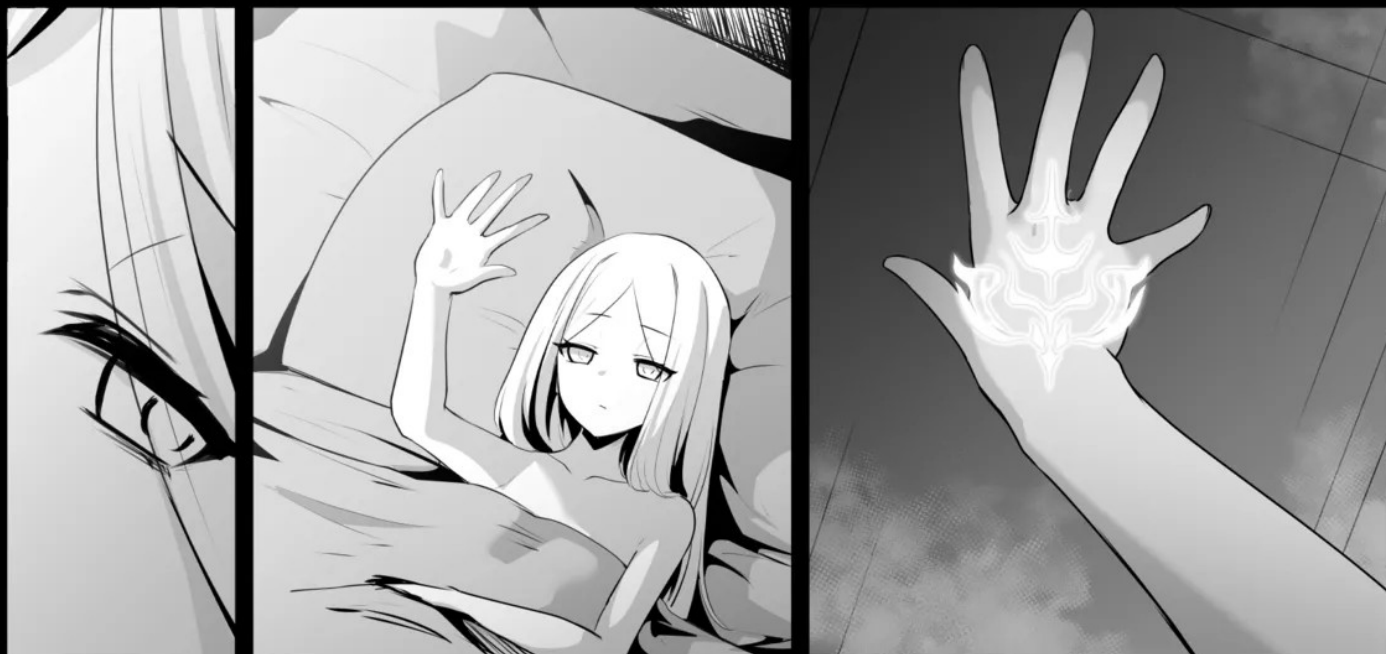
しかし彼女自身も
その祝福の
解き方が
わからなかった



祝福とは
すなわち呪い

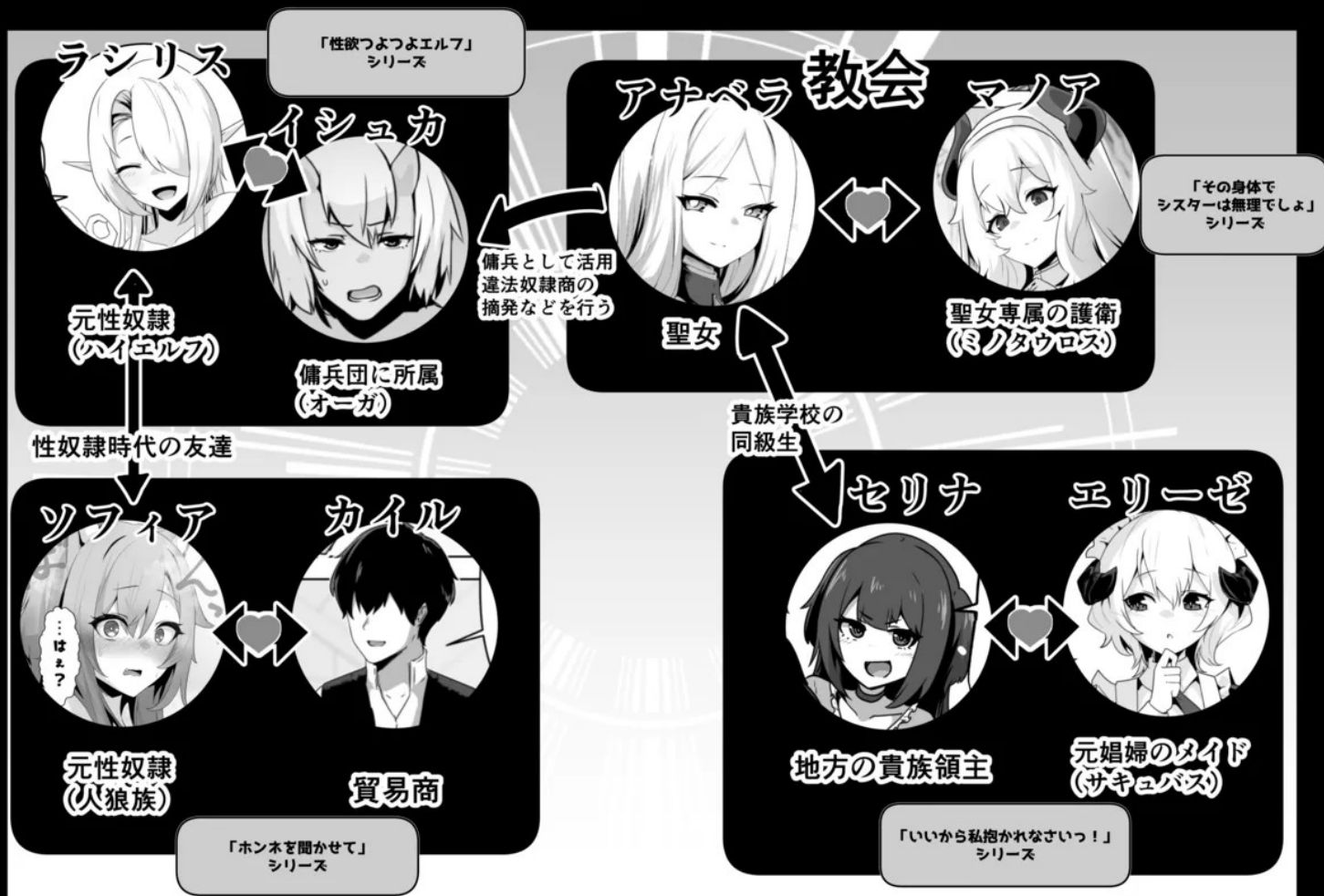
良かれと思って
やったことが
必ずしも
いい結果になるとは
限らないという
そんな教訓のお話





このままいくといつか
寿命がきてお別れに
なってしまうけど
祝福する事が逆にマノアを不幸に
したらどうしよう...って
思ってる聖女様

満月物語シリーズ 相関図



あとがき

こんにちは おてもとと申します。
今回もお手に取っていただき、
本当にありがとうございます！

今回は今まで以上にストーリー重視というか、感情面に
フォーカスする作品になったような気がします。

完全に私の癖(ヘキ)になるのですが、精神的なつながりの上に
肉体的な快感とかを乗付けたいタイプなんだなーと
最近自覚しました。

pixivでふざけて「今回は軽くNTR表現があります～」って
宣伝したらバチクソにキレたメールが6件くらい来たので、
性癖に嘘つくもんじゃないなって反省しています。

今後の作品もイチャラブ系の漫画になると思いますので、
ご縁がございましたらまた手に取っていただければと思います。
次こそページ数控えめで！

よければ評価やコメント・レビュー等していただければ
とても嬉しいです！

この度は「聖女様の弱点」をご購入いただき、
誠にありがとうございました！